

第三回まちcomiリサーチ 『子供を『ほめる』叱る』保護者の意識調査』

ドリームエリア株式会社は、無料不審者情報配信ツール『まちcomiメール』を利用している保護者の方々を対象に、『子供を『ほめる』叱る』保護者の意識調査』についてのアンケートを実施いたしました。

調査概要》

調査期間	2006年10月11日(水)~2006年10月15日(日)
調査方法	URLを記載したメールから携帯サイト上のアンケートフォームへ回答
調査対象	『まちcomiメール』を利用した不審者情報を携帯で受信している保護者
有効回答数	3668件

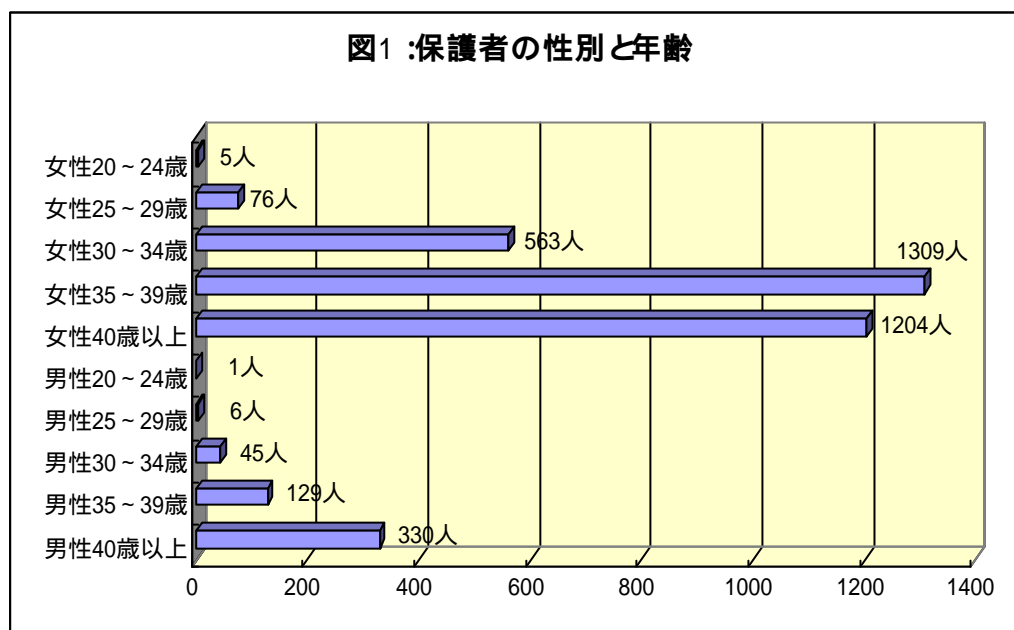
調査項目》

1	性別と年齢を教えてください
2	お子様の学年は？（複数回答可能）
3	1日どれくらいの時間をお子様と過ごしますか？
4	お子様の普段の様子を把握していますか？
5	お子様に対して『ほめる・叱る』の比率を教えてください
6	(1) お子様に対して、しっかり叱ることができますか？
	(2) 『いいえ』と答えた方、その理由をお書きください
7	叱られたことに対してお子様はどのような反応を示しますか？
8	お子様の性格はどのタイプにあてはまりますか？
9	子育ての悩みはどなたに相談しますか？
10	お子様との接し方で大切にしている事をご記入ください

は、必須項目

質問1 :性別と年齢を教えてください

「女性35～39歳」の35.7%が最多。男性では、「男性40歳以上」の9.0%が最も多い



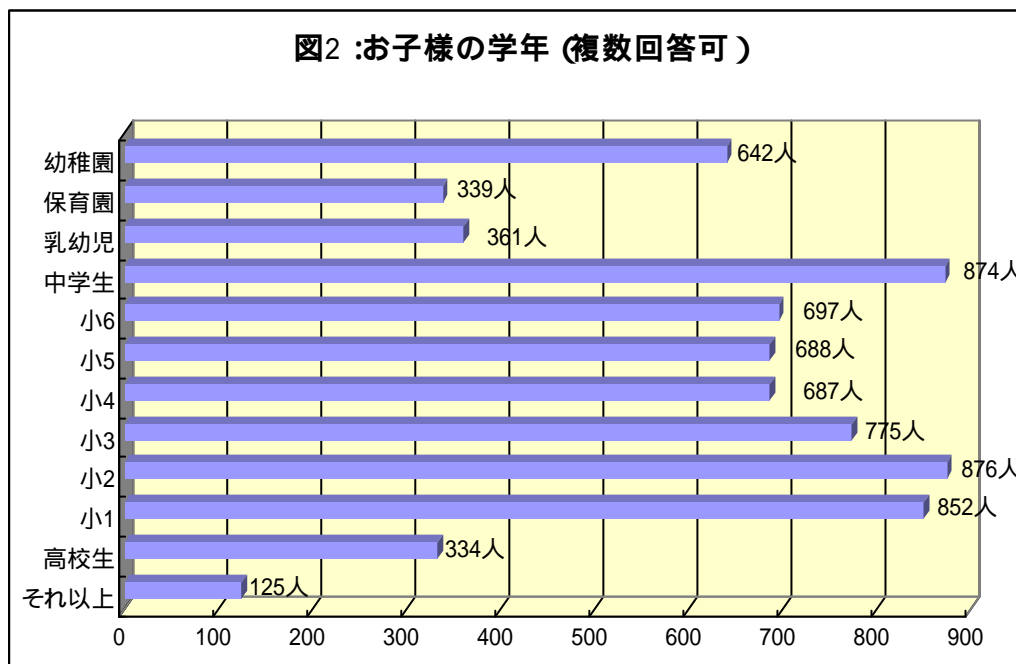
子供を持つ女性(母親)3157人、男性(父親)611人、合計3668人がアンケートに返答。

「性別と年齢を教えてください」の質問に対し、回答者(保護者)全体では、「女性35～39歳」の35.7%(1309人)が最も多く、ついで「女性40歳以上」の32.8%(1204人)が多かった。

男性では、「男性40歳以上」の9.0%(330人 男性内比率64.6%)からの回答が最も多く、ついで「男性35～39歳」の3.5%(129人 男性内比率25.2%)が多かった。【図1】

質問2 :お子様の学年は (複数回答可)?

6割以上が小学生の子供を持つ保護者からの回答であった



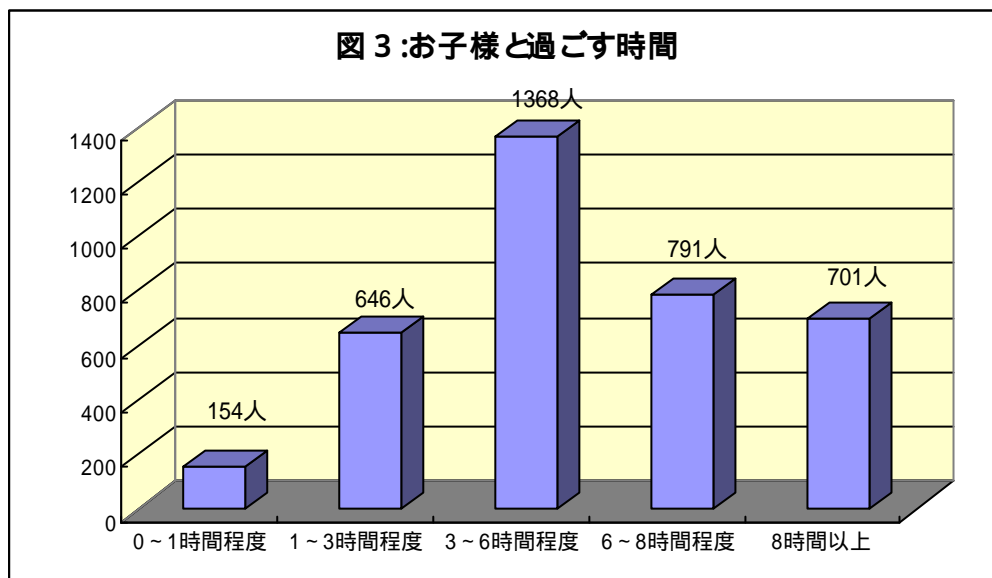
回答者 (保護者) 3668人に対し、子供の総数は7250人。

「お子様の学年」について聞いたところ、小学生の子供を持つ保護者が全体の63.1% (4250人) を占め、次いで小学生以下が18.5% (1342人)、小学生以上が18.4% (1333人)であった。

その中でも、子供の学年が「小学2年生」という回答が一番多く876人、次いで「中学生」が2人差の874人、「小学1年生」が852人というアンケート結果になった。【図2】

質問3：1日どれくらいの時間をお子様と過ごしますか？

「3～6時間程度」と返答した保護者が約4割を占める



「1日どれくらいの時間を子供と過ごすか」について聞いたところ、**「3～6時間程度」の回答が最も多く全体の約37%**、次に多かったのが「6～8時間程度」で全体の約22%となり、子供と過ごす時間をある程度持つ親が多いことが分かる。【図3】

乳幼児を持つ親が子供と過ごす時間については「8時間以上」が約56%と過半数を占め、その他（幼稚園・保育園以上）については「3～6時間程度」が最も多かった。

また、働いているなどの理由から

子供と一緒に過ごす時間が「0～1時間程度」と回答した保護者の中では、文字や書面を使い子供とコミュニケーションを図るなどの手段を取り入れていることがわかった。

「子供と過ごす時間がほとんどないので、毎日一言、白板にメッセージを書く様にしています」(神奈川県)

「平日は顔を合わす機会がないため、日記形式でその日の出来事などを書いてもらい、それについてのコメントを返し、コミュニケーションをとっている。休日は共に過ごすよう心がけている」(岐阜県)

「仕事をしている為休み以外、一緒に過ごすことができません。低学年の頃は交換ノートをしていましたが今は携帯でメールを利用しています」(千葉県)

質問4 :お子様の普段の様子を把握していますか？

**把握している親は8割強。
子供の状況把握」と過ごす時間の長さ」の関係が浮き彫りに**

「お子様の普段の様子を把握していますか」の質問に対し、「よく把握している」把握している」と答えた保護者が全体の約88%を占め、子供の普段の様子を把握できている親が大半であることがわかった。【図4】

把握していない」と答えた保護者を男女別で比較したところ、女性(母親)は全体の約2%、男性(父親)は全体の約12%とい結果に。

【図4-1、4-2】

図4 :お子様の様子把握(全体)

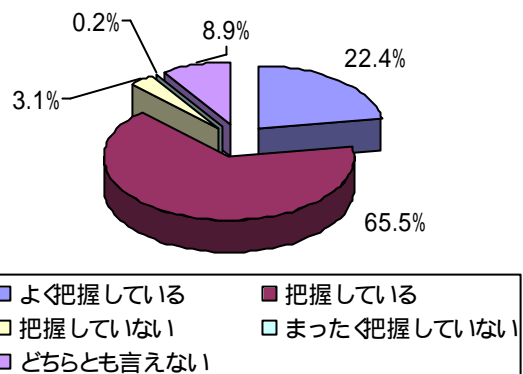


図4-1 :お子様の様子把握(女性)

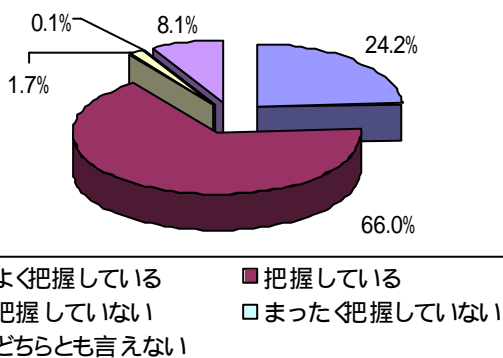
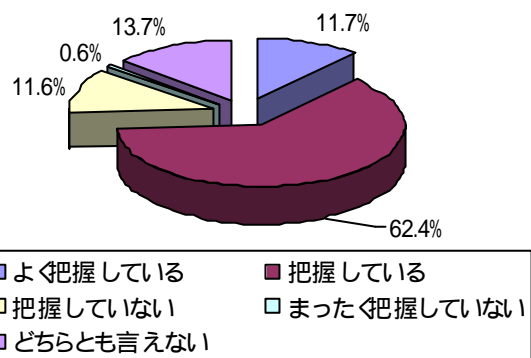


図4-2 :お子様の様子把握(男性)

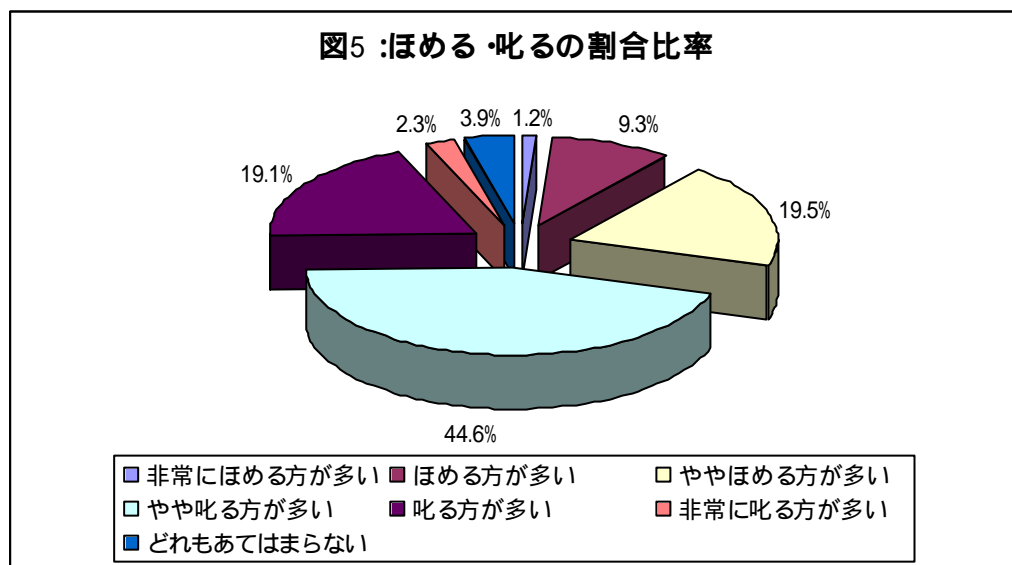


また、[質問3]の回答と照らし合わせたところ、子供の様子を「よく把握している」把握している」と回答した保護者は、子供と過ごす時間が1日に3~8時間程度に集中。その一方、子供の様子を「把握していない」まったく把握していない」と回答した保護者は、子供と過ごす時間が1日に0~1時間程度」と最も多く、半数を占めた。

子供の状況把握」に「子供と過ごす時間」が大きく関わっていることが、調査結果からうかがえる。

質問5 :お子様に対して「ほめる叱る」の比率を教えてください

叱る傾向が強い保護者は全体の66%と「叱る」割合比率の方が高い



子供に対しての「ほめる・叱るの比率」について聞いたところ、「やや叱る方が多い」と回答した保護者が最多の44.6%。それに対し、「ややほめる方が多い」は19.5%にとどまった。

この結果から、ほめる傾向の保護者は全体の30%に比べ、叱る傾向の保護者は全体の66%にも及び、**子供を叱る比率が非常に高いことが分かった。**「どれもあてはまらない」は数値に含まず【図5】

また、ほめる傾向ではあるが以下の理由で子供を叱れない保護者もいることがわかった。

非常にほめる」と回答した保護者

「幼児で公的な場面、場所だと 大声を出せなかったり 幼児に大泣きされると困る」(北海道)

ほめる方が多い」と回答した保護者

「反抗されるから」(三重県)

「あまり怒れない」(千葉県)

「どんな風に叱ったらいいかわからない。叱ると黙り込んだりして話の続きが出来なくなってしまう」(三重県)

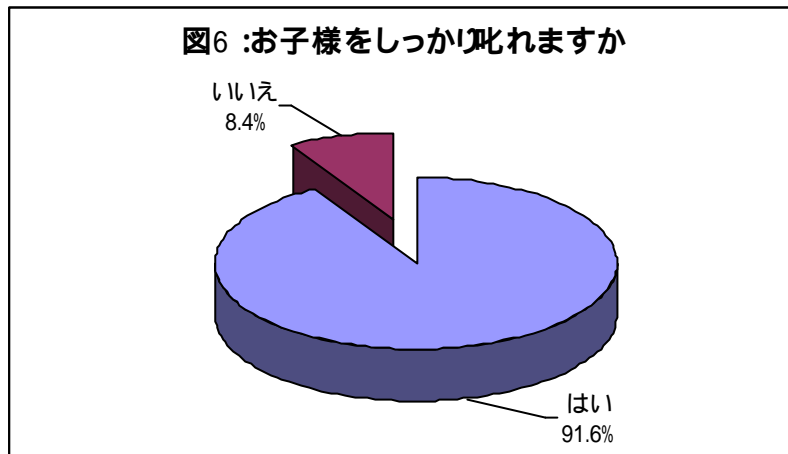
ややほめる方が多い」と回答した保護者

「忙しく、つい叱り損ねる」(長崎県)

「家内が叱っているので自分はあまり叱らない方がいいと思う」(千葉県)

質問6-1：お子様に対して、しっかり叱ることができますか？

3,663人中、9割を超える3,355人が「はい」と回答



子供に対して「しっかり叱れるか」について聞いたところ、「はい」と回答した保護者は9割を超え、**子供をしっかりと叱れている意識が高い保護者が圧倒的に多い**ことが分かる。【図6】
 その一方で、[質問5]で叱る傾向が強いと感じている保護者のうち、「しっかり叱れていない」と回答した保護者は16.5%にも上り（ほめる傾向の親で「しっかり叱れていない」は、3.3%）
 叱る比率が高い保護者ほど、**自分の叱り方に疑問や不安を抱いている**ということが分かった。

質問6-2：「いいえ」と答えた方、その理由をお書きください。（自由記述）

感情的になる」「怒ってしまう」「不安、自信がない」などの記述が多数

子供に対して「しっかり叱ることができるか」について聞いたところ、「いいえ」と回答した308人から子供をしっかりと叱れない回答を得た。その内容を分類別にし、以下に掲載する。

感情的になってしまう

- 叱るといよいよ感情的に怒鳴ってしまい、心に響いていないと思う（静岡県）
- 「つい自分の感情、“やつあたり”で声を荒げてしまうことがある」（三重県）
- 考えながら叱る余裕がないので、忙しいと本当に感情だけで叱りつけてしまいます」（千葉県）
- 感情が入ってしまい話が長くなり伝えたいことがちゃんと伝えられない」（栃木県）
- 「その時の気分で感情的になるときもあり、叱り方にむらがあると思うから」（愛知県）
- 叱れてると思うが…イライラして感情的な事が多く、しっかり叱るとい事に当てはまってるのか？」（滋賀県）

叱る」が怒る」になってしまう

自分自身、叱ると怒るの区別が解りません」(愛知県)

感情的になってしまい、時として“怒る”になってしまう。時間をかけるべきなのは承知しているが、簡単に“怒る”ことで済ましてしまっている。“叱る”を徹底するのは想像以上に難しい」(神奈川県)

自分自身が情緒不安定なときは、“叱る”ではなく“怒る”になってしまう」(愛知県)

感情的になってしまい、叱るではなく怒ってしまう。手をあげるときもある」(愛知県)

叱るとらよ！私一人が怒っている感じ。子供も“またか”といひ感じで聞き流しているように見える」(神奈川県)

不安、自信がない

あまりきつ叱りすぎると、(子供が)また怒られると思い本当の事を言わなくなるかもしれないと思う」(滋賀県)

上の子供に対しては、怒る理由を年々うまく伝えられなくなってきている。慎重になってきているのもあるが、

自信を持ってないことも多い」(神奈川県)

毎日のように同じことに対して叱ることが多いので有効な叱り方をしていると思えない。いくら言ってもすぐ子供たちは同じことを繰り返すから」(神奈川県)

「どうらぶに叱ったら良いかいつも不安になるため」(茨城県)

「どこまで親が伝えたいことが伝わっているか、また理解してもらっているか自信がありません」(神奈川県)

私自身、試行錯誤のしつけですので、自信をもって親だとはいきれない。きちんとできている方をみてみたいです」(千葉県)

反省 後悔

普段から怒り叱り過ぎていっているように感じているので、いざという時に(いうことを)きかない。毎日、寝顔を見ては反省の日々です」(滋賀県)

感情が先にたってしまい、冷静になればもう少し違った叱り方ができたかなと反省しきりです」(岐阜県)

その時の心情で、ただ苛々して言わなくてもいい事まで言ったり、以前の事を蒸し返したりして、本編から外れてダラダラ怒ったりしてしまい、後で自己嫌悪」(愛知県)

私自身がこんな言い方をすれば良かった、と後悔することが多い」(岐阜県)

叱る必要がないことにも小言を言ってしまうことが、話している間に頭にきて言い過ぎるなど反省」(神奈川県)

バランス

子供たちを平等に叱れない」(千葉県)

上と下で言い方に違いがあったりするし、子供の態度(特に上の子は)で感情的になってしまう」(神奈川県)

自分の疲労度や余裕のなさに関係している」(千葉県)

妻との怒り方のバランスが難しい」(福岡県)

自分の気分で叱り方が毎日違う」(岐阜県)

叱りかたにムラがある」(三重県)

その他

子供にも、子供の世界が出てきて、友人関係や面子もあり、一方的に叱る事が難しくなってきた」(神奈川県)

気になっても言わずにいて、なあなあになってしまう時がある」(滋賀県)

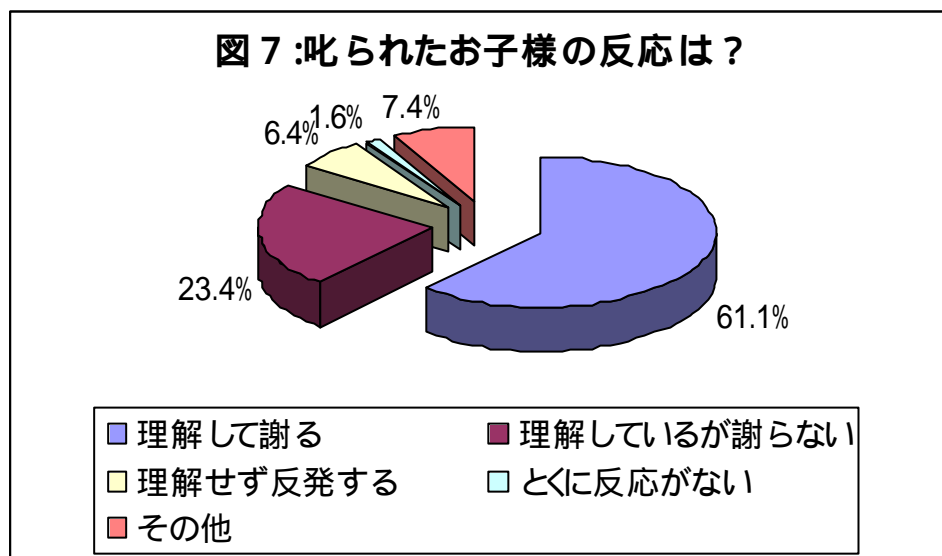
叱るだけで、その問題についての解決、改善策みたいな事を話さずすませてしまうことが多い」(神奈川県)

要点を簡潔に、後に引かないように叱ってるつもりですが、繰り返したまするので、言い方が悪いのか、タイミングが悪いのかと考えることも、根比べしてる感じでしょうか。マイペースに頑張っていくつもりです」(神奈川県)

今まで何もかもがヨギヨギが続けてきたせいか、子供が叱られるからと多くを語ってくれなくなってしまった様に感じたので、まず子供にどう思ったか理由を聞いてから、どうしたら良かったのか本人に考えさせる様に考え方を変えた」(神奈川県)

質問7 叱られたことに対してお子様はどのような反応を示しますか？

6割は、叱られたことに対して理解を。3割の子供は反抗的な反応を示す



叱られたことに対しての子供の反応」について聞いたところ、6割以上の保護者が「理解して謝る」と回答。その一方で、叱ったことに対して「理解しているが謝らない」「理解せず反発する」「とくに反応がない」と、親に対して反抗的な反応を見せる子供は3割を超えている。【図7】

[質問6-1]で、「しっかり叱ることができる」と回答した保護者は9割を超えているが、それに対して「理解して謝る」子供は6割という結果から、叱る側(保護者)と叱られている側(子供)の理解力にズレがあることが読み取れる。

また、その傾向は[質問6-2]や[質問10]の自由記述からも伺える。

子供の口答えに負けてしまう(滋賀県)

親の言い分に対して反応がない。何回も同じことを叱るからうるさいと反抗してくる(静岡県)

大人並みに答えが帰ってくるので、冷静に対処できなくなることがあります(千葉県)

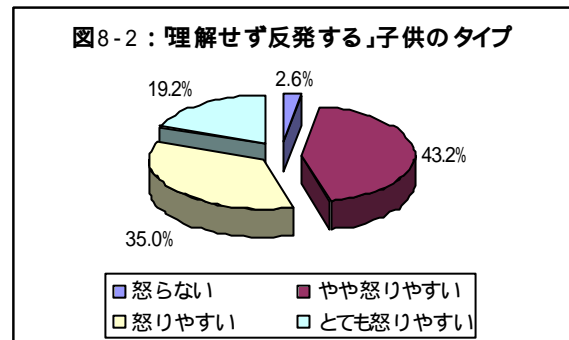
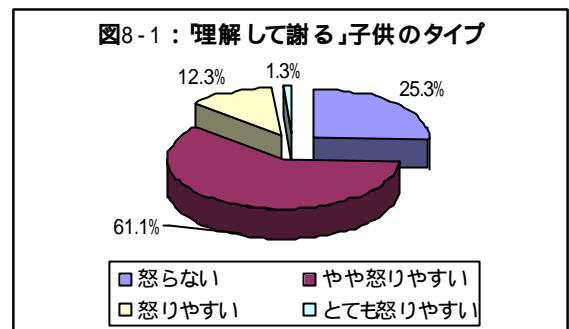
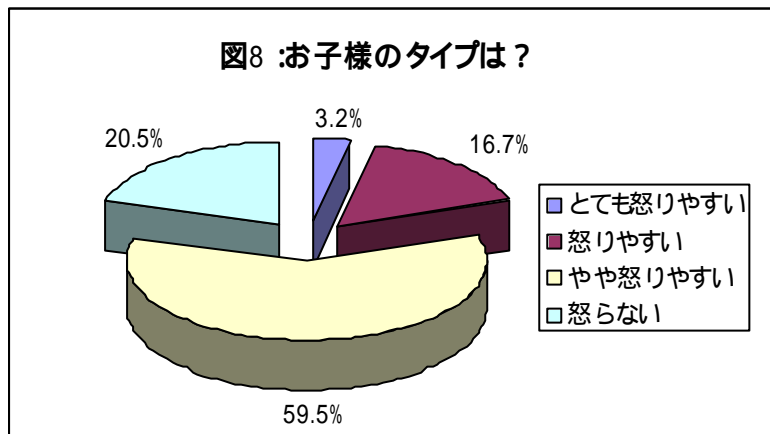
性格もよく把握してるつもりですが、自分とは全く異なるタイプで理解に苦しむ時が多々あります(千葉県)

聞いた事に対して答えが返ってこない。話が途中で終わってしまう(千葉県)

話し合いを持とうとはするが、思春期のせいもあるのか…親との会話を面倒臭がる。ひどい時は口すら聞かない…なので諦めて、ついほっといてしまう(北海道)

質問8 :お子様の性格はどのタイプにあてはまりますか？

子供が **怒りやすい傾向にある**と回答した保護者が、約8割
叱られていることへの理解度が、子供の性格にも影響を与える可能性が



「お子様の性格はどのタイプにあてはまりますか？」について聞いたところ、
子供が **怒りやすい傾向にある**と回答した保護者が約8割を占め、**怒らない**が約2割という結果
になった。【図8】

[質問7]の回答と照らし合わせたところ、

「理解して謝る」と答えた保護者の子供25.3%が、**怒らない**と回答したのに対し、
「理解せず反発する」と答えた保護者の子供35.0%が、**怒りやすい**、19.2%が**とても怒りやすい**
と回答。**叱られていることへの理解度が、子供の性格にも影響を与える可能性がある**とわることが分
かった。【図8-1、8-2】

叱るとキレられる、壁に穴を開ける、ドアを蹴飛ばす、下の子を殴るなど手がつけられなくなる時があるので
顔色を見てしまう(千葉県)

言い聞かせているのに、子供が逆ギレして親の言うことを聞いてくれない(愛知県)

上手く叱れているのか解らない、逆ギレされる事もよくあります。同じことばかり言っている私は自信がなくな
ります(岐阜県)

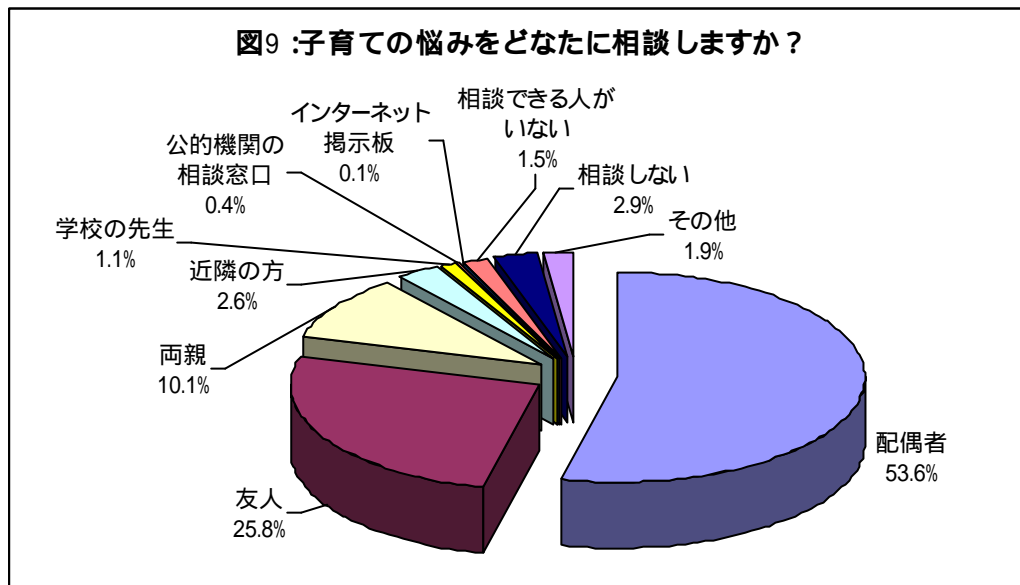
すぐうるさいとかえしてくるので、まともな話しができません(鳥取県)

逆切れされた事があったので(千葉県)

「(子供の)心が壊れてはいけなから、無理できない(徳島県)

質問9 :子育ての悩みはどなたに相談しますか？

相談相手のトップは配偶者。
相談できる人がいない」は「学校の先生」を上回る結果に



子育ての悩みはどなたに相談しますか？」について聞いたところ、
半数以上の約54%が「配偶者」と回答。

悩みを相談しつつ、夫婦で協力して子育てを行っていることが以下のコメントから伺える。

「自分が子供を叱ってる 怒ってる時は妻は口を出さない、妻がしている時はその逆で私は口を挟まない、
いわゆる二人同時、一緒になってガミガミ言わないように気を付けている」(宮城県)

「私は叱るほうで、嫁が子供の逃げ場所になり二人の協力でなんとかしてます」(三重県)

「両親で叱る基準を統一する」(茨城県)

「母親と父親の役所を阿吽の呼吸で連携する」(東京都)

次いで「友人」が約26%、「両親」が約10%となっている。

相談しない(2.9%)、相談できる人がいない(1.5%)は、「学校の先生(1.1%)」を上回る結果に。

また、「相談できる人がいない」と回答し、[質問10]に記述のある保護者からは以下のコメントが。
相談できる相手がいず、一人で苦悩している様子がうかがえる。

「あらためて考えたが自信を持った答えがなぐ情けないです…。口先だけでならいくらでも言えるが、
それさえもできないです」(千葉県)

質問10 :お子様との接し方で大切にしている事をご記入ください (自由記述)

- 2625名もの保護者が回答。子育てへの関心の高さが読み取れる結果に

「お子様との接し方で大切にしている事」について聞いたところ、必須項目ではないにも関わらず、**2625件ものコメントが寄せられた。**子育てへの関心の高さや、子供とのコミュニケーションを大切にしている保護者の気持ちが伝わる結果となった。寄せられたコメントを分類別にし、以下に掲載する。

会話をする 話を聞く

子供が辛い思いをしているときなど、かならずサインを出しているの、問い詰めて聞き出すのではなく、自然に話してくれるようにいつでも聞くよ」というこちらの意思を示しておきます。子供が話し始めたら徹底して聞きます」(滋賀県)
 「三食の食事を必ず一緒に食べて、学校であった事などいろいろ会話をする」(三重県)
 「共通の話題で話をしたり、子供が学校での出来事を話している時は面倒くささらず聞いて、その流れで自分の聞きたい事も聞く時には内容に対して意見を言う」(千葉県)
 「何かトラブルがあった時は理由がわかるまで話を聞く！ どうしても親では理解出来ない所は担任の先生に相談し、いい方向に向かうよう協力してもらっています」(三重県)
 「忙しくても、少なくとも各1人ずつに10分は時間をとり会話をするように心がけている」(沖縄県)
 「子供の話をよく聞いて気持ちを理解し、「ママはこう思うけど皆はどう」と子供達に考えさせるようにしています」(埼玉県)
 「よく会話をし、「少し違うかな」と感じた時に完全否定はせず、違う部分とあっている部分を話し合ったり「もしもこうなったらどうする?」とらような一緒に想像したり相談にも、どんだんのようにしてます」(愛知県)
 「学校から帰ってくる時間には家にいて、「ただいま」の声で様子がわかるので、そこから会話をする」(東京都)
 「子供の気持ちや言い分を聞く耳を持ち、お互いに理解できるようによく話し合う」(滋賀県)
 「中1なのですが、学校の出来事や恋愛話など、中々学校では話せない事を家で話させています」(滋賀県)
 「どんなに忙しくても、子供の話を聞くときは必ず手を止めて、しっかり目を見て聞く」(北海道)
 「顔をみて、視線を合わせて会話をし、子供の話をよく聞くように心がけている」(岩手県)

スキンシップ

「1日に何回か『子供のことを可愛いねー!』と言ったりぎゅぎゅ抱き締めている」(東京都)
 「スキンシップを大切にしていればあうが、怒る時は真面目に怒る。めり張りをキチンとする」(岐阜県)
 「膝の上に収まる年齢までは膝の上、上の子は隣に座りちよこちよこ話す。いじってみる」(神奈川県)
 「叱った後、膝に乗せたりしてスキンシップをとったり一緒に風呂に入ったりする」(千葉県)
 「私から『こっちにおいで』とスキンシップを、子どもに『お母さん』と呼ばれたら、忙しくて片付けたい事があっても手を休め子供の話を聞く事を心がけてます」(千葉県)
 「子供の気持ちもできる限り理解し、それを本人にも伝える。逆に大人の考え方も理解してもらうように説明する。しかし、何より片手を繋いだり、それができなくとも触れ合える環境をつくる」(沖縄県)
 「お風呂は毎日入り、健康状態や成長(会話や日々の出来事、友達とのやりとりを聞いた)りして)チェックする」(神奈川県)

愛情表現

「どんな場合でも、親として愛していることを解るように話す。下はまだ小さいので無償の愛を夫婦であげているつもりです」(東京都)
 「時には一緒に涙を流しながら…。子供達には一人一人が『ママの宝物』と言ってます!」(三重県)
 「きつ叱っても愛してるからこそである事を知らせる」(千葉県)
 「かけがえのない存在であることを折りに触れ、伝える」(千葉県)
 「子供にメモ手紙を書いたり『大好きよ』と言う」(滋賀県)
 「いつも『大好き』生まれて来てくれて良かった」と気持ちを口にする様にしている」(千葉県)
 「肩を叩いてくれていい子ね』よ!私、とても楽になった!嬉しい!ありがとうなど、私は『嬉しい』悲しいなどの気持ちから、愛や感謝等を伝える様に心がけている」(滋賀県)

教育

「何はともかく 命の大事さだけは教えるようにしています」(秋田県)
 家族のルールを毎年決めて、なるべく目標に近づくように話し合う」(神奈川県)
 挨拶はきちんとする。目を見て話す。相手の気持ちを考えた言動をする。嘘は言わない。この4つを守ることが出来るよ。親が手本を見せるようにしている」(岐阜県)
 時は金なり 生涯学習をモットーに無駄な時間を過ごさせない」(愛知県)
 勉強もさせるが遊びにも行かせるようにして必要なら送り迎えもする。子供の予定を第一に自分の予定をいれる」(千葉県)
 分からない事があるとよく聞いてきますが、すぐに答えを教えるのではなく、まず考えさせる事を大切にしています」(静岡県)
 毎晩絵本のリクエスト本の読み聞かせをして、温かい気持ちで眠りにつくようにしている」(埼玉県)
 楽しく明るく、何かあってもすぐに気持ちの切り換えは出来るように、子供を導けるように気を付けている」(千葉県)
 嘘をつかない。生きる目的や意味がわかるように・・・教える。子供が正しいセルフイメージを持てるよう配慮する」(滋賀県)
 気持ちの共有。例えば夕焼けが綺麗など簡単なことから人の考え方、命の大切さなど色々話をする」(千葉県)
 居間で学習させ、親がそばについて一緒に復習予習をしている」(神奈川県)

叱る

怒りっ放しにしない。お互いに冷静になった後でお互いの気持ちを話し合って、お互いに謝り合っています」(静岡県)
 悪いことをした時には本気で怒り、何故悪いのか理解させ、同じことを繰り返さないようにさせる」(千葉県)
 「一本の芯をもって接し、子供を叱る理由なども、芯からぶれないこと」(東京都)
 叱る時は目を見てわかやすく、手はあげない」(埼玉県)
 叱る誉めるはその場で。人前でけなさない」(神奈川県)
 「人に迷惑をかけることが起きた場合は子供の目を見て、顔を背けないようにしてお互いの手と手を握りながら説明するようにしている」(千葉県)
 叱るときは特に、子供ではあるけどなるべく子供扱いでなく、“人”として接するようにしている」(三重県)

ほめる

「叱ったら10ほめます」(東京都)
 「良い事をした時や頑張った時などは必ずほめてやり、悪い事をした時は叱るだけでなく、きちんと説明し、理解させ、反省や謝る事を教えています！」(福島県)
 「ほめる時は、出来るだけオーバーにほめる」(神奈川県)
 「スキンシップや自ら何かしてくれたときはかならずほめて、「ありがとう」と言うように心がけている」(愛知県)
 「できなかった事ばかり指摘せず、少しでもできた事に注目する」(千葉県)
 「他の子と比べずにできるだけいいところをみつけて、ほめるようにしている」(徳島県)
 子供の得意なことをほめて伸ばすように心がけている。また、宿題や自主学習用のプリントのチェックも欠かさずやり時には勉強を教えて学力向上に努めている」(神奈川県)

平等に接する

兄弟、別け隔てなく同じように接すること」(滋賀県)
 「こども3人を《あなたたち》とい束にせず、1人1人と接するよう心がけています」(千葉県)
 「3人がそれぞれに親との二人きりの特別な時間を作れるようにしている」(岐阜県)
 兄弟喧嘩でよく怒ってしまうのですが、片寄る叱り方はしないように心掛けてます」(滋賀県)
 兄妹喧嘩をしても末っ子の肩を持ってしまふ。そのせいか長男はますます末っ子に意地悪になってしまったので、私自身対応が悪かったと反省。ちゃんと長男の話を聞き、次男が悪い時は長男の前でちゃんと謝らせるようにしています」(沖縄県)

その他

10年後に後悔しないようなかかわり方をしたい」(神奈川県)
 母親、父親、友達の三役が出来る様に心がけている」(岐阜県)
 近所との交流、地域の方へのご挨拶など、子供が話を出来る大人が周囲にいるような環境作りに親子で取り組んでいる」(神奈川県)
 仕事をしているので疲れた顔を見せない、疲れたと言わない」(千葉県)
 学校の参観や試合の応援には必ず行きます」(神奈川県)